



KAHF ニュースレター

〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2-2 京都市国際交流会館3階

財団法人 京都国際文化協会内

京都ホストファミリー協会 (KAHF)

No.17

2018年 3月発行

東京オリンピック

2018年度 行事予定

4月15日(日)

ウェルカムパーティー
(吉田南キャンパス生協1F)

5月

春のハイキング

10月

大原バーベキュー

11月

大学の学園祭参加

2018年1月13日(日)

新春親睦パーティー
(京都市国際交流会館)

2月

綱揚げ大会

3月

総会・会員の集い

二年半後に迫った東京オリンピックに世間の関心も深まっているようですが個人的には1964年10月10日に開催された第一回東京オリンピックが強烈的な印象として残っています。そこで今一度当時の社会情勢や意味を簡単に振り返りたいと思います。

☆

私はその時大学最終学年の忙しい秋ながら出回りだした自宅のカラーテレビで充分感動観戦しておりました。1945年終戦時焼け野原だった東京が見事に蘇った姿を世界に見てもらおう場でもあったのです。このオリンピックにあわせるべく準備段階の東京ではあちこちで砂埃が立ち建設ラッシュの活気が溢れていました。例えば東京といえどもまだまだ水洗トイレ普及率は低かったのです。(因みに当時一番の水洗トイレ普及率は大阪市でした。)全てが今の大都会東京の礎になりました。東海道新幹線はこのオリンピックに合わせて直前10月1日に世界初の高速道として開業したのです。その頃若輩だった私はそれほど思う事はなかったのですが今、あの戦後の窮状から20年間での東京復活は大変な世界に誇れる偉業だったと信じます。

☆

一方、2020年開催誘致に成功した東京オリンピックはまた違った感慨で観戦になりそうです。テロや7月の猛暑日本で無事に乗り越えられるのか、自然災害被災者の復旧の難問を抱える人達も含めて皆で開催の意義を問いながら無事なる成功を祈るばかりです。(鈴木道子)

平素、KAHFの活動にご尽力頂き、有難うございます。お陰様で、2017年度もいろいろな行事や個々の付き合いを通して、留学生との交流を深めることができました。今年度の活動をまとめたニュースレターを作成しましたので、どうぞお受け取り下さい。なお、ニュースレターはホームページでもご覧いただけます。行事予告などはホームページやフェイスブックでも行っています。

ホームページURL : <http://kahf.web.fc2.com/>

フェイスブック グループ名 : KAHF (Kyoto Association of Host Families)

2017年度会務報告

2017年度に50名の新しい留学生（No. 1994～2043）を受け入れて、HFとB/S会員をマッチングしました。

2017年度に新たに5名のHF会員（No. 477～480）の入会がありました。よろしくお祈いします。また、6名の会員が退会されました。これまでのご協力に感謝します。この結果、現在活動中の会員は102ファミリーとなりました。

2013年度に発足した新しいHF活動であるBrother/Sister (B/S)プロジェクトへ2017年度に4名のB/S会員（J-051～J-055）が新たに登録されました。B/S会員は卒業・就職などで自然退会も多く、現在の活動会員は約25名です。

2017年度の共通行事として以下を実施しました。留学生、ファミリー、B/S会員間の和気あいあいの交流ができました。

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1) 総会・会員の集い | 2017年3月12日 |
| 2) ウェルカムパーティー | 2017年4月16日 |
| 3) 春のハイキング | 2017年5月28日 |
| 4) 祇園祭船舳参観 | 2017年7月14日 |
| 5) 万華鏡作製および友禅染体験 | 2017年9月3日 |
| 6) 下鴨神社名月管弦祭 | 2017年10月4日 |
| 7) 大原バーベキューパーティー | 2017年11月5日 |
| 8) 京都大学学園祭（11月祭）と真如堂の紅葉 | 2017年11月23日 |
| 9) 新春親睦パーティー | 2018年1月14日 |
| 10) 凧揚げ大会 | 2018年2月25日 |

行事報告 2017年3月～2018年2月

総会・会員の集い 2017年3月12日(日)

本年度の総会・会員の集いは百万遍近くの清風荘（元徳大寺家→西園寺公望の京都控邸、現在は京都大学が管理）で開催しました。出席者は、29+子供2名でした。2016年度の会務報告および会計報告（谷垣代表）の後、食事をとり、その後、懇談会に入りました。会員の自己紹介および留学生との交流経験披露がありました。その後は、同荘の管理人の奥田様からの丁寧な説明を受けて、重要文化財の建物および七代目小川治兵衛作の国の名勝に指定されている庭園を案内していただき、暖かい陽気の下で散策を堪能しました。



ウェルカムパーティー 2017年4月16日(日)

毎年恒例のウェルカムパーティーを京都大学生協吉田食堂1Fで開催しました。参加者はファミリー：46名、B/S：5名+希望者1名、留学生：44名、計96名でした。留学生の参加が比較的少なかったため、ファミリー、B/S、留学生間の交流が密でした。ケーキ、サンドイッチ、それと飲み物を囲んで盛り上がり、最後にくじ引き（殆ど留学生全員と子供にいいものが当たった！）とミニバザーで締めくくりました。また、今年は特別な企画として、内海久美様他による細川流盆石展と実演があり、その優雅な技法と出来栄えに魅惑されました。数人の留学生が体験もさせてもらいました。このパーティー当日に新しい留学生：7名がKAHFへの登録をしてくれました。



春のハイキング 2017年5月28日(日)

宇治への軽いハイキングに出掛けました。参加者は40名、内留学生は17名でした。企画したメンバーの一人が雨男で、心配しましたが、全く予想外の良い天気で、汗ばむハイキングになりました。京阪電車の「宇治駅」に集合して(13:30)、宇治川沿いに「宇治神社」→「宇治上神社(世界遺産)」と歩き、「大吉山(仏徳山)」で小休止と集合写真、その後「興聖寺」を経て、再び宇治川沿いに、「中の島」に渡って「鶴の小屋」などを散策してから解散しました。大吉山は海拔132mの裏山ですが、ヘアピンカーブが続き、よい運動になりました。山の上からの宇治、遠くは大阪の景色は最高でした。殆どの人は無事に興聖寺へ下りましたが、最後に残った7～8名は降りる道を見落として、奥山の方へ迷い込みかけるところでした。元の道を下り、携帯電話で本体と連絡を取り合い、無事に中の島で落ち合うことができました。



祇園祭船鉾参観 2017年7月14日(木)

今年も、下京区新町通仏光寺上ル、船鉾の参観を行いました。留学生、ファミリー46名と、やや少ない参加でしたが、コンチキチンのお囃子を聞きながら歴史ある鉾を参観して京都の夏の風物詩を楽しみました。



万華鏡作製および友禅染体験 2017年9月3日(日)

今年は暑い日が続いたので、室内中心での夏の行事を計画しました。参加したのは、ファミリー2名、B/S1名および留学生4名でした。10時に「京都文化博物館」で集合、先ずは「京都万華鏡ミュージアム」で嗜好を凝らせた色々な万華鏡を見学し、留学生の3名が万華鏡作製にチャレンジしました。それぞれ違う美しい作品ができてhappyでした。途中のカフェで昼食ととり、次の体験場所「丸益西村屋工房」へ向かいました。思い思いにハンカチやランチョンマットに好みの模様の友禅染を楽しみました。構図を決めるのにも時間が掛かり、染の作業も最初はなかなか難しかったですが、店の人に教えてもらって、最終的にはそれぞれ個性のある素敵な作品が出来上がりました。



下鴨神社名月管弦祭 2017年10月4日(水)

昨年好評だった本行事を今年も実施しました。16時に左京西部いきいき市民活動センターに集合(HF:6名、留学生2名)、持ち込んだ弁当で軽い食事をして、メンバー持参の月見団子をいただき、自己紹介でお互いの認識を深めることができました。クイズや歌の練習なども予定していましたが、あっという間に時間が過ぎてしまいました。18時前に出発して下鴨神社へ徒歩で移動しました。直接現地に来られたメンバーも合流し、かがり火に照らされた境内で、尺八、管絃、舞楽などを楽しみました。よい天気で、綺麗な中秋の名月を眺めることができ、幽玄な雰囲気に浸ることができました。



大原バーベキューパーティー 2017年11月5日(日)

龍池財団大原郊外学舎での恒例のBBQ、当初は10月29日(日)に予定をしていましたが、台風22号の接近、直撃の可能性が高く、一週間遅らせました。お陰様で快晴の気持ち良い戸外でのBBQを楽しめました。参加者は、ファミリー20名、B/S会員2名、留学生17名、子供7名、合計46名でした。焼肉と野菜カレー、および、おしるこは、参加人数が少なかったためにたっぷりと残り、全員お腹一杯になりました。食事の後、恒例のボール運びゲームに興じ、バドミントン、フリスビーなどを楽しみました。ただし、この大原学舎は老朽化が進んできており、管理人さんも常駐しなくなったので、来年以降使用可能か少し心配です。



京都大学学園祭(11月祭)と真如堂の紅葉 2017年11月23日(木)

新しい試みとして、学園祭に参加する計画を立てました。まず、最初の大学として京都大学(吉田キャンパス)とし、11月祭(NF)の初日の午後に参加しました。参加者は、HF9名(内子供2名)と留学生4名の合計13名でした。正門で集まって約2時間、ステージでの学生の演奏、手品などのパフォーマンス、模擬店、フリーマーケットなどを楽しみました。15時に再び正門で集合し、丁度紅葉の季節なので、吉田神社→吉田山→真如堂の散策をしました。少し寒かったですが、綺麗な紅葉を見ることができました。



新春親睦パーティー 2018年1月14日(日)

今年も賑やかに新春親睦パーティーが開催されました。連日の厳しい寒さにもかかわらず、留学生 44 名、B/S3 名、見学 1 名、32 ファミリー 49 名、約 97 名の参加がありました。

谷垣代表の音頭で乾杯。各国の留学生からもお国言葉で“乾杯”を紹介してもらいました。

その後会食、歓談。昨年同様、京都大学の邦楽サークル、叡風会の皆さんが新春の雰囲気盛り上げてくれました。



凧揚げ大会 2018年2月25日(日)

2018年2月25日(日)午後、恒例になってきた凧揚げのイベントを催した。まずは京都左京西部いきいき市民活動センターでの“グニャグニャ凧”作り。ビニール風呂敷と竹ひご、それと揚げるための紐だけの簡単なもので、みんな楽しんで作った。この段階での参加はHF、B/S会員、留学生合わせて13人だった。その後は勇んで鴨川公園(三角州)へ。気温は暖かく、適当な風もあり、ビニール凧もよく揚がった。後からの参加者およびたまたま居合わせた外国人も飛び入り参加して、子供達は勿論のこと、大人たちも童心に帰ってはしゃいでいた。



2016年9月から2017年9月まで短いといえば短いし、長かったら長い日本生活を通じてたくさんのことを見て感じた。まだ京都に初めて到着した時の記憶が生々しい。多くの荷物を持って寮に到着して大まかに部屋の掃除をしてベッドに横になった記憶。知人もほとんどなくて少し怖くて困っていた記憶は多分一生忘れられないことだと思う。留学生活のスタートはやや憂鬱したが、学校に通いながらすぐに克服することができた。いつも良い事ばかりでは無かったが、それでも新しく面白いことがいっぱいだった。良い先生に会って良い友達に会えたのは本当に幸運だった。私が日本での生活を楽しむことができるようになったのは友達や先生そして、ホストファミリーだ。私が住んでいた所が京都だった点もよかった。

私は1年間京都大学の寮で暮したが、そこには色々な国の友達が多かった。特に、同じ階に住んでいた香港、台湾の友人のおかげで、互いに様々な文化交流もしたり一緒にお祭りに行ってみたりした。特に寮で、皆と一緒に餃子を作って食べたのは本当に大切な時間だった。その上、学校で指定してくれた担当教授がとっても親切な方だったために短期留学生の私にも多くの気を使ってくれた。また、約半年間の日本生活の後、新たに出会ったホストファミリーのおかげでもっと多様な経験をする事ができた。誕生日パーティーから始め、毎月一回ずつは必ず会って一緒にご飯を食べて話を交わした時間はとても幸せな時間だった。彼らと一緒にホテルを見に行ったりして鵜飼いをしたり引っ越したホストファミリーを訪問することなど、多くの経験をした。その中でも最も記憶に残るものはやはりホテルだ。韓国にもホテルはあるが、実際に見たことは一度もなかった。いつも本やテレビ、映画だけで見たホテルを実際に見た時は本当にまるで夢を見るようだった。日本の夏、その特有の雰囲気と森の中の雰囲気が加わり、夢幻的な感じがいっぱいだった。どこにでもできない不思議な経験だった。最後でただ京都なのでいいところがとても多かった。観光地も多くて、大阪や神戸など他の地域への移動も容易にできて良かった。季節ごとに違った清水寺の雰囲気もとても良かった。鴨川近くのカフェに座って景色をみるのもとても良かった。閑寂だが、にぎやかな雰囲気も良かった。ひとつ残念なことがあったら韓国に比べて雨があまりにも頻繁に降るということだ。日本は確かに島国のためか、台風と雨がたくさん降るようだ。

韓国では日本を表現する時、近くて遠い国と表現したりする。両国は似ているが、違うという意味だ。実際に日本で住んでみるとこの言葉が何を意味するのかについてもっとよく分かるようになった。生活しながら文化の違いも感じてみたり似ている文化も知った。この時間を通じて私の価値観や考え方がより柔軟になった契機になった。まるで井の中の蛙だった私が一年間の留学生活を通じて井戸から頭をやっと出したような気持ちだ。また、どこに行っても人々が住む姿はみんな同じだということを感じたために、どの国に行ってもよく生きることができるという自信ができた。これから私が経験する無数のことがあるだろうが、この1年の生活を通じて、私は立派ではないけど何とかやりこなすことができるという自信を得た。憂鬱でつらい事もあったが、いま振り返ってみると、良くない記憶よりは楽しくて幸せな記憶がはるかに生々しい。過ごした時間は長くなかったが、日本に来なかったら本当に後悔したようだ。普段はなかなか経験しがたい楽しくていい時間だった。

寄稿②

日本に留学して来て思うこと

私はベトナムのハノイから来ている留学生の TRINH Hai です。

私が 2013 年に日本に来てから、日本人の自然に対する美意識が少しずつわかってきました。

日本に来た当時私は日本語学校に通っていました。そこで最初の頃、和歌や短歌などを通してそれはどのように表されるという日本の授業がありました。

萩は秋を表すなど、それぞれの季節になるとお菓子やお花など変わることです。

茶道教室へ1度体験した時は、季節に合わせる12種以上のお菓子があることを知りました。

また他にも、私は様々な日本文化を探検することが好きでチャンスがあればいろいろな所に行きます。京都ふれあい会館の舞妓芸子コーナーに行った時、季節に合わせてかんざしも変わっていました。

招待されて誰かに手土産を買うとき、お菓子屋さんに行ったら、確かにいてあるお菓子が季節によって変わっています。

春ならば、桜餅やよもぎ団子、秋ならば栗餅や薩摩芋などのことです。

特にスーパーマーケットの果実野菜コーナーにはそのようなことをよく感じます。

身の回りの風景や自然界も一年中いつでも楽しめます。典型的なものの桜と紅葉から、銀杏、どんぐり、萩などあります。

このようなことは長期留学の中、日常生活で経験したこともあるし、講義やなんらかのイベントを通して学んだこともあります。そのような小さな経験を積み重ねてはじめて現在のような日本人の季節感・美意識への実感ができます。ところがまだまだ入口だけでもっと学ぶべきや経験しておくべきことが多いと思っています。日本にいる間研究のためだけではなく日本の文化のことももっと学びたいと思っています。

寄稿③

ところ変われば品変わる

ホストファミリー 桑原節雄

日本にいて、当たり前と思っていることでも、国が変われば当たり前でないことが、いろいろあります。留学生との対話を通じて、そうした「違い」を発見するのも楽しいものです。幾つかの反応を紹介します。

1、京都のぶぶ漬け

京都のぶぶ漬けの話を知っている留学生は多いです。

「ぶぶ漬けでもおあがりやす」と言われたら、「お帰り下さい。」という催促という話です。

同じような申し出がそれぞれの国であったら、どうするか話題になりました。

* 誘われたら断っては駄目。それは礼に反する。

誘いを受けて腹がはちきれそうになるまで食べるのが礼儀。(韓国)

* お昼ごろに人が来たら、いつでも食事が出来るように用意してあるのが普通。(インド)

* 誘われたら嬉しいね。断る理由がないね。(ブラジル)

2、誕生日は何時

中国から来た留学生 毎年誕生日が変わるので困りました。

彼らは、誕生日を中国暦で祝っているのです。

日本では、平成も西暦も月日は同じで、1月1日は、どちらによっても同じです。

ところが、中国暦と西暦では基準が違います。中国暦の正月は、西暦で言えば毎年変わります。

普段 西暦で暮らしていても、正月、誕生日、供養などの伝統行事は中国暦で行っている国が多いです。

韓国から来た学生が面白いこと言ってました。

「私の誕生日は西暦です。しかし両親は中国暦によっています。ですから、私に両親の誕生日を聞かれても、即答できません。

3、誕生日祝い

最近では、誕生日祝いをするのが、どこの国でも普通のようにですが、どうもこれは西洋文化の影響のようです。

さて日本の過去は、どうだったのでしょうか。

ミャンマーでは、現在も伝統的な誕生日のようです。

朝 お寺に行き仏陀に参拝、お寺や修行僧・慈善施設に寄付をする。誕生日ギフトなどもらえないそうです。

4、結婚したら、姓は変わるの？

いろいろなパターンがあります。

夫婦別姓について、日本では 最近いろいろ議論されてますが、日本のように夫の姓に完全に変わるというのは、珍しい方です。

- * 夫婦別姓——韓国・中国
- * 自分の姓と結婚した相手の姓の併記——ブラジル
- * ご先祖様からの姓をどんどん重ねていく——インド
- * 珍しいのは、姓のない国——ミャンマー

日本式に慣れていると戸惑いも多いです。夫婦別姓の国では、相手の呼び方に困ります。日本では、XX 夫妻で済むのですが——。それに別姓だと誰と誰が夫婦なのか見わけがつかないです。姓のない国は、もっと大変ですね。

KAHF の現況

2017 年度のファミリー会員数の推移（表 1）、受け入れ留学生数と引き受けファミリー数（表 2）、留学生出身地・地域（表 3）をまとめました。

表1 ファミリー会員数の推移

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017
入会ファミリー数	6	10	4	6	10	4
退会ファミリー数	18	8	11	9	11	6
ファミリー会員数	113	115	108	105	104	102

表2 年度別受け入れ留学生数と引き受けファミリー数

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017
KAHF受け入れ留学生数	20	74	47	80	72	50
学生を引受けたファミリー数	17	44	29	45	48	28

表3 留学生出身国・地域

Bangladesh	4	Indonesia	4	Russia	1
China	7	Kazakhstan	1	Taiwan	5
Dominica	1	Korea	5	Thai	7
France	1	Mauritania	1	Vietnam	4
Germany	2	Norway	1	U.K.	1
India	1	Pakistan	1	USA	3

2017 年度には KAHF に 4 ファミリーが新たに加わり、6 ファミリーが退会されました。今年度は 50 人の留学生を、28 ファミリーで受け入れました。ひとり以上の留学生を引き受けているファミリーが多いのも事実です。50 人の留学生の内訳は、中国とタイの学生が 7 人と最も多く、続いて韓国、台湾が 5 名でした。